

## 教育委員会会議 平成29年2月定例会 会議録

日 時	平成29年2月23日(木) 13:30 開会      14:20 閉会	会 場	教育委員会室
出席委員	原田 良一      長江 真理子      真木 源      森 尚美	寺元 貴幸	
出席職員	和田学校教育部長      松尾生涯学習部長      忠政こども保健部長		
	戸田学校教育部次長(兼)企画調整官(兼)教育総務課長      朝田生涯学習部企画調整官		
	松田学校施設課課長補佐      後藤生涯学習部次長(兼)スポーツ課長		
	峪川生涯学習部次長(兼)生涯学習課長      小坂田生涯学習部次長(兼)文化課長		
	平井こども課長      片岡学校教育課長      丸山保健給食課長		
	谷口図書館長      尾島津山市史編さん室長      仁木教育総務課主幹		
	近藤教育総務課主任		
議 事	案 件	担 当 課	
1.開 会 2.教育長あいさつ 3.会議録署名者 について 4.前会会議録の 承認 5.教育長等の 報告 6.議 事 (1)議 案	津山市教育振興基本計画(第2期)の策定について 津山市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱及び解嘱について	(教育総務課) (生涯学習課)	
(2)協 議	平成28年度3月補正予算について 平成29年度当初予算について 久米ふれあい陶芸センター条例の一部を改正する条例について 津山市執行機関の附属機関設置条例の一部を改正する条例について	(各 課 ) (各 課 ) (生涯学習課) (文化課)	
(3)報 告	学校給食への異物混入の顛末と今後の対応について 岡山県指定重要文化財の指定について 子育て世帯の生活状況等に関するアンケート調査について 平成29年度公立幼稚園運営体制について 認定こども園への移行について	(保健給食課) (文化課) (こども課) (こども課) (こども課)	
7.その他 (1)各課からの お知らせ	調べる学習コンクール津山市推薦作品の全国審査結果について 第10回津山総合音楽祭等について	(図書館) (文化課)	
(2)次回定例会の 開催について	津山市教育委員会会議3月定例会の日程について 平成29年3月23日(木)午後1時30分から		
(3)その他			
8.閉会			

傍聴者 0名

# 教育委員会会議 平成 29 年 2 月定例会 会議録

( 13 : 30 )

## 1. 開 会

## 2. 教育長あいさつ

## 3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第 15 条第 2 項の規定による。

## 4. 前回会議録の承認

全員賛成

## 5. 教育長等の報告

今回は特になし

## 6. 議事

### (1) 議案

#### 津山市教育振興基本計画（第 2 期）の策定について（教育総務課）

概要説明

計画策定の最後の手続きとなるパブリックコメントを 1 月 24 日から 2 月 13 日の期間実施し、3 名の方からご意見をいただき検討・修正を経て、本日の計画書へ反映している。パブリックコメントの結果修正を行った箇所は 9 番、12 ページ「運動の楽しさや感動を味わわせるなど」の表現は使役感が強い気がする。「運動の楽しさや感動を体感させるなど」としてはどうか。というご意見に対して、指摘されたとおりと判断し、ご指摘の通り記載の修正を行った。もう 1 件は、11 番 35 ページ本文 1 行目「第 2 章で定めた本市のめざす教育の基本方針」とは何を示すのか。というご意見に対して、今後 5 年間に津山市がめざす教育の方向として、「教育基本理念やめざすひとづくり、教育基本目標」を総じた表記として記載したのですが、次のように修正します。「第 2 期計画の実施にあたっては、第 2 章で掲げた教育基本理念やめざす人づくり、教育基本目標の達成に向けて、第 3 章で検証した課題や様々な教育に係る環境の変化に対するために、今後 5 年間に重点的に取り組む施策を体系化して掲載しています。」と修正したもので、合計 2 件の修正を行っている。その他の意見については、教育委員会の考え方を示し修正は行っていない。続いて、計画書ですが、お配りしている計画書が、本日提案させていただく計画書です。計画の構成等について改めて説明はいたしません。最終的に製本する計画書については、本日お示ししたものに加えて、巻頭に教育長挨拶、巻末に参考資料として、パブリックコメントの結果や語句説明、検討委員会の名簿などを併せて掲載します。今後は、市議会総務文教委員会での報告後にホームページの掲載等広報に努めてまいりたいと考えている。

全員の挙手により原案通り可決承認

#### 津山市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱及び解嘱について（生涯学習課）

概要説明

規則に基づき津山市教育委員会が委嘱する。委嘱及び解嘱者は 1 名。民生児童委員の改選に伴うもの。道畑委員を解嘱し眞木委員を委嘱する。委嘱期間は平成 28 年 12 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日。

全員の挙手により原案通り可決承認

### (2) 協議

#### 平成 28 年度 3 月補正予算について（各課）

概要説明

（学校教育部）

各課からとありますが、各部の補正予算をまとめて調整官又は主管課長から説明する。学校教育部ですが、事業実施見込みに伴う減額です。その中で、12 月にいただいたマルイエンゲージメントキャピタル

からの寄付を予算化している。寄付額は917千円で、市内小学校に均等に配分し、図書等の購入経費として使用する。続いて、小中学校の施設整備事業ですが、それぞれ524,120千円、中学校は107,199千円の増額補正になっている。これは、平成28年度の国の学校施設環境改善交付金の追加内示を受けたため、平成29年度予定事業であった喬松小学校、中正小学校の校舎大規模改修事業及び津山東中学校の屋内運動場大規模改修事業について平成28年度へ前倒しをしたものです。3月に承認いただいた予算は、全額繰り越して、平成29年度中に事業完了することになる。

#### （生涯学習部）

生涯学習部では、事業確定、決算見込み額、財源の組換えによる補正予算。旧洋学資料館活用事業90,000千円は、地方創生拠点交付金を活用した事業で、今年度の補正ですが、実際の事業については繰り越して29年度に実施するもの。内容としては、旧洋学資料館をアート&デザインをコンセプトにした賑わいの拠点となる施設に整備をしていくもので、設計・改修工事費用を計上したものの。また、美作国分寺跡保存整備事業については、本年度、用地購入を完了させる予定でしたが、地権者と一部まだ交渉が成立していないので、来年度に送るもの。京橋門跡公園整備事業については、地権者2人の内、1人の方は用地購入ができませんでした。これについてはいったんここで、事業を縮小する。用地購入できた1人の方の面積が十分あり、新年度予算で措置し公園を整備する。歴史文化基本構想策定事業は、国に採択してもらえませんでしたので、今年度は断念して29年度に実施するように、当初予算で要求している。市史編さん事業、5,680千円減額ですが、今年度、別巻「民話」を刊行する予定でしたが、執筆者等の作業が遅延したことで、29年度に刊行することになり、減額している。

#### （こども保健部）

こども保健部ですが、いずれも事業の実施状況による増減となります。幼稚園の再構築については、設計・測量等の実績見込みによるもので、57,600千円の減額となります。なお、47,000千円を次年度に繰り越します。また、幼稚園就園奨励費、多子世帯教育・保育施設利用者負担軽減事業は、事業見込みによる増額となるものです。

全員の挙手により原案通り可決承認

### 平成29年度当初予算について（各課）

#### 概要説明

#### （学校教育部）

各課からとありますが、各部で説明します。学校教育部から平成29年度当初予算の教育費総額は、6,927,612千円で平成28年度当初予算と比較して0.4%の増額となっています。まず、学校教育部の特徴的な予算は、32 確かな学力向上対策事業の英語活動講師派遣事業33,496千円です。平成32年の新学習指導要領の全面実施に向けて、小学校の英語が教科化されることに併せて、ALTの配置基準を変更したり、契約方法を複数年契約に変更するなど、より良い人材の確保、学習環境を目指し、学力向上に向けた取り組みを行います。次に35・36 学校ICT環境整備事業の小学校及び中学校分35,080千円です。ICTを活用した、高い視覚効果による分かりやすい授業を可能とし、学習意欲と学力の向上を図るため、平成29年度は小学校3校、中学校2校のモデル校に指導用タブレット等を導入するために必要な経費を計上しています。また、校務支援システムを全小中学校に導入し、事務の負担軽減を図ります。次は44の小中学校施設整備事業1,528,571千円です。これは築30年以上経過する老朽化施設の機能回復などに係る整備費で、平成29年度は、佐良山小学校、清泉小学校、広野小学校などの校舎改修、空調整備工事やプール改修工事などを行います。53の中学校施設整備事業175,170千円については、鶴山中学校の武道場の整備や、空調整備工事やプール改修工事などを行います。

#### （生涯学習部）

生涯学習部の所管する特徴的な事業を説明する。75 津山国際総合音楽祭30,000千円は第10回の記念となる津山総合音楽祭開催経費への補助金。80 奨学金を活用した大学生等の定着促進事業に60,365千円。帰ってきんちゃい若人応援基金積立金、市から50,000千円、民間の目標額が10,000千円で併せて60,000千円の積立金と、周知等に必要な経費を計上しています。89 美作国分寺跡保存整備事業84,463千円は残っております用地取得に係る経費と90 京橋門跡公園整備事業20,000千円で公園整備を進めていきます。92 津山城跡保存整備事業は29年度は二の丸東側の石垣の修理の設計、裏中門の周辺整備。また、裏下門の周辺発掘調査の経費で、41,403千円。94 歴史文化基本構想策定事業は、

今年度策定の方を進めていきたい。3,428千円で概ね3年間計画を持っている。117 公民館整備事業 342,176千円。29年度は広野公民館の建築工事、二宮公民館、これは幼稚園との複合施設になりますが、これの改築工事。田邑公民館多目的ホールの増築工事費。125 津山文化センター施設整備事業、これは予定では平成31年までかけての事業で、耐震補強工事、全面リニューアルに伴います基本計画、基本設計の委託料で55,310千円。128 市史編さん事業については28年度できなかった民話の刊行を含め15,542千円。138 スポーツ振興基本計画策定事業 916千円。現在のスポーツ振興基本計画が平成29年度で終わりますので、平成30年度から10年間の計画の策定を29年度に行い、それに係る審議会委員の報酬、アンケート調査等の費用を計上している。

(こども保健部)

こども保健部の所管する事業は、57から62となります。そのうち特徴的な事業として、59 幼稚園預かり保育事業、これについては、通常保育時間終了後に家庭で保育できない場合に預かる経費で東・鶴山・加茂幼稚園の3園で実施し6,133千円。40 幼稚園再構築施設整備事業で東西に新築設置する2園の整備に係る経費で、平成29年度は設計・造成・建築費等で、835,834千円で、平成29年度からいよいよ造成等の本格的な工事に入っていくこととなります。  
全員の挙手により原案通り可決承認

#### 久米ふれあい陶芸センター条例の一部を改正する条例について(生涯学習課)

概要説明

久米地区に、久米ふれあい陶芸センターがあり、これは生涯学習施設です。陶芸をする建物と、多目的に使う建物の2つあります。多目的に使う建物について、ファシリティマネジメントの関係で施設点検をしたところ老朽化が激しいという結論がでました。そのため壊したいということで、そこを利用されていた久米仙人太鼓とシルバー人材センターの2つの団体に活動場所を移していただけませんかとお願したところ、仙人太鼓さんは久米公民館に活動場所を移され、シルバー人材センターは、他のところですからということで、結果として28年度は、利用団体がいない状態で1年が過ぎ、平成29年度で取り壊しの予算内示がでましたので、ここでふれあい棟を解体撤去いたします。その関係で、条例を改正するものです。ふれあいセンター棟と陶芸棟の内、ふれあいセンター棟を壊し、陶芸棟だけになりますので、その陶芸棟だけの条例に内容を換えている。施行日は平成29年4月1日。  
全員の挙手により原案通り可決承認

#### 津山市執行機関の付属機関設置条例の一部を改正する条例について(文化課)

概要説明

旧苅田家住宅の整備方針に関する事項の審議及び答申する機関として、旧苅田家住宅保存修理活用検討委員会を設置する。それに伴う所要の整備を行うもの。この委員会の担任する事務は、旧苅田家住宅の保存、修理、及び活用に関する事項の審議及び答申に関する事務を行う。  
全員の挙手により原案通り可決承認

### (3)報告

#### 学校給食への異物混入の顛末と今後の対応について(保健給食課)

概要説明

平成29年2月1日、新野小学校において、給食に金属の破片が混入していた件について報告します。事案の概要は、児童が給食で提供された「カレーライス」をほとんど食べ終わった際、器の中に金属、長さ約6.5cm×幅約2.7cmが混入しているのを発見。児童は口にしておらず、発見児童含め健康被害等の報告はない。異物は、草加部学校給食センターで使用している、賽の目切り機の金属製のかき出し羽であった。ジャガイモの切裁のため使用した賽の目切り機のかき出し羽が、折れ曲がる形で切断し、切裁したジャガイモに混ざったもの。再発防止策としては、調理過程、機械操作について、メーカーが標準とする使用方法の再確認と徹底。また、本来、容易に破損することのない羽が破断したことを受け、通常の点検項目としていなかったものを追加して点検すること。調理過程における報告・連絡・相談と十分な安全確認の再徹底を実施してまいりたい。

#### 岡山県指定重要文化財の指定について(文化課)

概要説明

既に報道発表されておりますが、沼にある沼遺跡が2月17日の岡山県教育委員会において県指定重要文化財に指定されましたので、ご報告します。種別は史跡、名称は沼遺跡、所在地津山市沼597-1番地ほか、所有者は津山市です。津山盆地の低丘陵上にある沼遺跡は、昭和27年から昭和33年にかけて発掘調査が行われ、西地区で竪穴住居5棟、長方形竪穴遺構1基など、東地区で掘立柱建物3棟、南北方向の溝が確認されました。弥生土器、石器、鉄器、ガラス小玉が出土し、弥生時代中期から後期の集落遺跡です。集落最大の竪穴住居は焼失住居で炭化した木材などが遺存しており、住居の構造を復元する重要な手がかりとなりました。長方形竪穴遺構は共同の作業現場と推定され、これを取り囲むように住居が配置されています。沼遺跡は、ほぼ一つの集落全体を発掘調査したことによって、竪穴住居、作業場、掘立柱建物から構成される集落構造と、その規模及び空間利用の実態が初めて把握された遺跡であり、弥生時代の集団の基礎単位を研究する嚆矢となった学史的に重要な遺跡であります。これで、津山市にあります岡山県指定重要文化財は36件から1件増えて37件となっています。

### 子育て世帯の生活状況等に関するアンケート調査について（こども課）

#### 概要説明

昨年6月から8月にかけて、子どもや保護者が抱えている困難な状況を把握し、求められている支援策等を検証するために、ひとり親家庭医療費受給世帯、児童扶養手当受給世帯、また、就学援助費受給世帯の約1,400世帯と日頃から子育て支援に係っている学校、NPO、放課後児童クラブ等の約170の支援団体に対してアンケート調査を行った。その後、取りまとめ分析を（12月まで）行なっている。回収結果として、ひとり親家庭等については、1,409世帯、回収率46.2%。支援団体等については、471団体65.5%の回収率です。分析結果については、児童扶養手当の受給世帯からは、家計において、食費、住居費、教育費の順に負担を感じている。手当の増額や子どもの進学費用の軽減、子ども医療費の無料化など、さらなる経済的支援を求める意見が多く見受けられました。また、支援機関等からは、貧困な子どもは、心の状態が不安定で、チャレンジ精神や、自己肯定感が低く、家庭環境も複雑なため、支援にあたっては行政と支援機関とが連携を深めていく必要がある。という意見が多く見受けられております。このアンケート結果をもとに市の内部組織であります津山市子どもの貧困対策庁内検討会議におきまして、仕事、資格取得、学習支援、経済状況等13部門について、必要な施策の検討を行っております。今後も法や大綱の趣旨にのっとった施策となりますよう、子どもの貧困対策庁内検討会議や関係機関と課題の整理や、具体的な内容について調整・協議を行っていき、必要な支援策を実施していきたいと考えている。29年度からの新たな取り組み事業は、こども課では、子ども医療費の小学生・中学生の通院に係る医療費を無料化することについて7月からの実施を要求している。養育費の確保促進事業について、ひとり親世帯については、養育費をもらえていない状況が多いことから、養育費の請求手続きに係る弁護士費用の助成を行う要求をしている。また、外部の関係機関と連携し、支援体制を構築し、貧困対策に努めていきたい。

### 平成29年度公立幼稚園運営体制について（こども課）

#### 概要説明

平成29年度の園児数の状況については、2月15日現在で212名でのスタートとなる予定。昨年度と比較して35名の減少。平成29年度の学級編成については、津山市立幼稚園の設置及び編成基準に関する規定により1学年5名以下になると複式園として1クラスになる。これにより、平成29年度は、西幼稚園、院庄幼稚園、佐良山幼稚園、清泉幼稚園、加茂幼稚園の5園において、1クラス編成になり複式対応になる。また、二宮幼稚園については、西エリアの幼稚園の再構築で工事が始まるので、田邑幼稚園園舎を利用して二宮幼稚園の運営を行っていく。

### 認定こども園への移行について（こども課）

#### 概要説明

平成29年度から移行する2園とも幼保連携型ではなく保育所型ではあるが、認定こども園に移行する。院庄保育園が、4月1日から院庄さくらこども園として、幼稚園の1号定員を15人として発足。保育利用の90人に変更はなし。また、津山市立久米保育所も保育所型認定こども園として、4月1日から久米こども園としてスタートします。幼稚園の1号定員は15人。保育利用定員の140人は変更ない。

## 7. その他

### (1) 各課からのお知らせ

調べる学習コンクール津山市推薦作品の全国審査結果について（図書館）

## 概要説明

第 20 回調べる学習コンクールに津山市から推薦しました作品について、審査結果は、2 作品が佳作となりました。今回のコンクールには、全国で 77,453 作品の応募がありました。うち、津山市を含めた 91 の地方団体が地域コンクールを開催しまして、69,818 作品でした。優勝作品数は、文部科学大臣賞他優秀賞が 33 作品、優良賞が 132 作品、奨励賞が 234 作品、佳作が 1,098 作品。

### 第 10 回津山総合音楽祭等について（文化課）

#### 概要説明

第 10 回津山総合音楽祭 2017 年 10 月 21 日から 11 月 26 日が本期間。その前の 9 月 3 日から 10 月 20 日までをプレ期間として開催。第 10 回という記念の年。これまでやってきた作曲家ダスタフ・マーラーを基に、音楽監督は東京藝術大学名誉教授の船山隆先生をお迎えして開催する。1 枚めくっていただいて、右側がプレ期間に行うものです。メインは 9 月 3 日から 11 月 4 日の市民による舞台発表です。市民関係の音楽祭は教育委員会生涯学習部文化課が事務局を行う。開いて左側に 10 月 21 日マーラー交響曲 4 番。最初のオープニングでメインになる。指揮者の下野竜也さんは、売れっ子指揮者で、昨年の大河ドラマ真田丸のオープニングテーマで NHK 交響楽団の指揮をされていた方です。10 月 29 日は、毎年年末に津山第九を歌う会が演奏会を行っておりますが、今回は音楽祭と一緒に第 35 回記念として、プロの指揮者をお迎えして市民合唱団、市民オーケストラでアマとプロの交流という形で開催する。指揮者の藤岡幸夫さんは、一昨年も津山にお越しいただいた。箕作阮甫の 6 代目、箕作家の末裔になる方です。今、関西で活躍されている。あと、筑前琵琶や、11 月 3 日のサティ「ヴェクサシオン演奏会」。これは東京では演奏の実績がありますが、西日本、あるいは地方では初めて開催されるものです。1 分ほどの不協和音の音楽を 800 何十回繰り返し演奏する。朝 9 時から夜中の 12 時過ぎまで連続津山文化センターで演奏する。ピアニストも市民公募して、小さい子どもさんから年配の方まで取り組もうということです。11 月 5 日絲詩の世界は乙女文楽というのがあり、それも津山では初公演になる。マーラーのテーマということで、マーラーの曲が映画でバックグラウンドミュージックに使われているということで、映画祭をして、三枝成彰さんに来ていただき講演会。伊丹十三の「たんぼぼ」、「ベニスに死す」というような映画にマーラーの交響曲が BGM に使われている。映画と音楽の謎というテーマで講演いただく。11 月 12 日伊藤多喜雄さんという民謡界では非常に有名な方に出演していただく。これまで紅白歌合戦にも何回も出場されている方で、地元の宮坂流津山銭太鼓さんとの共演が実現する。人間国宝の新内の方をお迎えして邦楽。津山ゆかりの方で、これからがんばっていかうとされる方のつやま若い芽コンサート。昨年に立ち上がった津山ジュニアオーケストラ。ここで初定期演奏会というのが、音楽祭の中で開催される。当初公募しましたら、30 人の予定が 100 人の子どもさんから応募があり非常に運営に苦慮しておりますが、初めての定期演奏会を行う。最後は、熱帯 JAZZ 楽団コンサートということで、フルバンドのジャズオーケストラということで、地元の吹奏楽、ジュニアのブラスの子どもたちの交流も考えているという内容です。4 月 22 日からチケットの販売を行いたい。第 10 回ということもあるが、今回のテーマは、次世代に期待を込めて、津山地域の若手を意識したものをやろうということでのプログラミングになっております。

津山市文化財調査報告会を 3 月 11 日土曜日に津山市中央公民館で開催します。内容は研究報告として、「津山城下と番所と関貫」津山郷土博物館の尾島館長の講演、国指定文化財の高野神社木造獅子を修理に出しており、それがまもなく戻ってまいります。修理をしていただいた方のご報告。

3 月 12 日日曜日、津山市洋学資料館・川崎医療福祉大学合同講座を開催します。「医の世界を志す君たちへ」ということで、ターゲットは中学校・高校生。将来、医学の道へ進もうと考えている中学生や高校生のみなさん、大人の方も大勢参加していただけたらいいのですが、その方たちをターゲットに、講座を開催します。

#### (2) 次回定例会の開催について

教育委員会会議 3 月定例会を、平成 29 年 3 月 23 日(木)午後 1 時 30 分から開催。  
全員賛成により決定

#### (3) その他(なし)

## 8. 閉会

(14:20)